

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	第4回加東市社地域小中一貫教育推進協議会
開催日時	平成28年1月14日(木) 19時00分から20時35分まで
開催場所	社中学校 1階 会議室
<p>議長の氏名 (委員長 佐々木正利)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>【出席委員】 24人</p> <p>佐々木正利委員 稲継俊文委員 山本弘委員 樹梨林三委員 西嶋孝夫委員 津田美紀委員 別惣裕美子委員 長濱一間委員 吉田嘉彦委員 上月政美委員 壺井勇作委員 松岡達哉委員 肥田繁樹委員 井上学委員 伊藤倫之委員 松本祐二委員 岸本吉博委員 田中寿一委員 神戸成企委員 土肥貴雄委員 小林茂委員 岡敏久委員 松岡博文委員 木村裕司委員</p> <p>【欠席委員】 3人</p> <p>堀口豊文委員 三村貴之委員 田邊浩一委員</p>	
<p>説明のため出席した者の職氏名</p> <p>【教育委員】</p> <p>大島巧男教育委員長 藤本洋二教育委員長職務代行者 神崎芳美教育委員 浅川るり教育委員</p>	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>教育長 藤本謙造 教育部長 堀内千稔 教育総務課 課長 大橋博英 同 副課長 柴崎俊之 同 主幹 山本幸平 学校教育課 課長 登光広 同 副課長 平川真也 同 主幹 藤原良二</p>	
<p>議題、会議結果、会議の経過及び資料名</p> <p>【議題】</p> <p>(1) 地域の小中一貫教育について (2) 今後の予定について</p>	

【会議結果】

- (1) 施設の形態、建設候補地及び整備時期について、審議しました。
- (2) 教育委員会の決定事項の報告方法について、審議しました。

【会議の経過】

1 開会

2 協 議

(1) 地域の小中一貫教育について

〔事務局説明（資料①）〕

(委員長)

事務局からの説明が終わりました。

今、国の動きも多少添えていただきましたが、これからこの協議会のまとめといえますか、施設の形態をどうするか、例えば一体型がいいのか、併設型がいいのかというような事柄と、建設の候補地、候補としてはどの辺が良いのか、あるいはその整備の時期、いつぐらいに小中一貫教育校を建ててほしいのか、希望を含めましていろいろな御意見を伺いたいと思います。繰り返しますが、施設の形態ですね。一体型が良いのか、併設型が良いのか。それから2番目が建設の候補地。場所的にはどの辺が良いか。それと、3つ目が整備の時期ですね。すぐやってほしいとか、なるべく早くやってほしいとか、そのような御意見を皆さんから今日伺いまして、その辺をまとめてこの協議会の総意として教育委員会に出したいと思いますので、どうぞよろしくお願いしたいと思います。

(委員)

社は中学校を残して併設ということでしたが、京都に視察に行かせてもらって先進校をまざまざと見た以上は、耐用年数が長くあるわけではないのでしたら、できれば一体型のほうが良いのではないかと私は思います。それと、場所ですが、やはり一体型でも、併設型でも、社中学校の周りしかないのではないかと思います。時期ですが、最初は平成33年で、最後は40年と、7年も開くのは予算の加減があるので仕方がないとは思いますが、教育というものはやはり差があったらよろしくないで、平成33年にできるところがあるのであればできるだけ早いほうが、限りなく早いほうが良いのではないかと思います。

(委員)

私は視察に行けませんでした。皆さんのお話を伺っておりますと、今、委員がおっしゃったようなところが適しているという感想です。やはり、加東市内の子どもたちが、社地域、東条地域、滝野地域で時期的に差が出ないような形でお考えいただければということです。

(委員)

私は、視察に行っていないんですが、一体型が良いかなと思います。場所は、かなり広い面積が要り、交通の便もあるでしょうが、私自身は嬉野ぐらいが良いのではないかと思います。早ければ、早いほうが良いとは思いますが、なかなか予算というふうなところで、時期的には事務局が今言われていたような時期で良いのではと思います。

(委員)

見学して、私が一番良いと思ったのは職員室です。小学校、中学校の教師が一緒に中で交流できるというのが一番良いので、小中一貫校は、併設型よりもできるだけ一体型のほうが良いということです。色々、反対意見もあるでしょうが、良いものは予算がとれ次第、できるだけ早くして欲しいと思います。社を中心に早く見本を見せて、良いものがあれば皆が賛同して早く動くのではないかと思います。

(委員)

鴨川は何しても距離があるので、新しい学校を建てるのであればできるだけ場所を変えて、できるだけ東のほうに寄ってもらいたい。それと、できるだけ早く、平成33年に開校できるような体制をとれたら良いと思います。

(委員)

何でも経費がかかりますが、スクールバスを出すほうがお金も収縮されて良いので、私は小学校を一緒にすればよいとずっと思っていました。大きい学校の悪いところもありますが、私は良いところしかわからないので、また、小さい学校の良さがわからないから一緒にすればよいという意見しかありません。今、いろいろと国や市等にお金がかかるのはわかっているので、一緒にしたら良いのにと思っていたら、このような話が出てきたので、私は良いなと思えました。小中を一緒にすることは、そういう意見もあるんだと思ったので、進めることには賛成です。場所は、結局、場所の確保の関係があり、予算等、いろいろな兼ね合いで、どこでもよいと言ったら失礼ですけど、それは何とかなるのではないかと思います。なるべく早く進めてほしいというのが自分の意見です。

(委員)

せっかく小中一貫教育をやろうということなので、やはり併設で妥協するよりは一体型にしたほうが、後々の子どもたちには良い影響が出るのではないかと個人的には思います。ただ、予算的なことがかなり絡んでくるので、少し厳しいところもあるかもしれませんが、一体型でできるのであれば是非そちらで進めたほうが良いかと思っています。ただ、開校順としては東条の校舎が耐震の問題等があるので、やはり東条を一番早くするべきなのかというふうには思ったりもしていますが、できるだけ早く取りかかっていたらと思います。

(委員長)

候補地はどうか。

(委員)

敷地的には、今、中学校がある場所という話を聞いているのですが。

視察に行った京都の学校は、少し校庭の広さが足りないという話は聞いたので、その辺も本当だったら広いほうが良いでしょうが、ただそれだけの規模の場所を探すというのはなかなか大変なのかなとは思っています。

(委員長)

京都の場合は町なかですので、普段グラウンド等で遊ぶ場合でも大変だと思います。ここは、農地を転用するというような難しさはありますが、比較的、京都よりはある程度、キープできるのではないかと思います。やはり場所的にはこの近辺というような感じがよろしいですか。

(委員)

そうですね。現実的にはそうなってしまうのかなと思いますが、スクールバスのことは気になっているという話があります。

(委員長)

いずれにしろ、スクールバスというのは増便していかないと、どうしようもないですけどね。

(委員)

社はエリアがすごく広いので、改めてそれを実感している感じです。

(委員長)

ですから1台とかというレベルでなく、何台もスクールバスがあるということもありますしね。ありがとうございます。

(委員)

併設か一体か。保護者の立場で言うなら一体だと思います。教育に関することからどんどん予算をつぎ込んだら良いと思います。場所は、さらに何十年後かに、3つをまた1つにするという段階がくるのでしょうか。そういうことも考えて、旧町意識はいけないのでしょうか、社に建つように、それなりに広いところを確保しておいて、やったほうが良いのですかね。時期ですが、大きいところから始めるより、小さいところから始めたほうが良いですよ。それで、ノウハウをためていって、最後に大きいところをやったほうが良いと思います。

社地域はできるだけ遅く、様子を見て、ノウハウも全部たまって始めたほうが良いと思います。

(委員)

視察に行かせてもらいまして、そちらの校長先生が一体型でないという意味がないと言い切られていたので、形態は一体型のほうが良いという思いはあります。候補地ですが、用地の問題もあるでしょうが、一応、地域のことを考えると、送り迎え等があったときに近いですし、負担も少ないので、希望としてはできるだけ近いほうが良いです。時期ですが、1校目が平成33年にできる予定だと思いますが、あと約5年ですか。視察に行かせてもらったような学校というのは、素晴らしい学校だとは思いますが、5年という準備期間で果たしてあのレベルに持っていけるのかということと、単純に初めてするより2番目、3番目にするほうがスムーズにいけるのではないかという思いがありますので、後が望ましいと思います。

(委員)

視察には行っていないので、話でしかわからないのですが、施設は一体型が良いということなので、そのほうが良いのかなと思っています。場所ですが、一体型にするのであれば、それなりに運動もできるグラウンド等の設備も子どもたちに備えてあげてやってほしいですが、中学校周辺はそれなりのグラウンドは広くとれないのではないかなと思います。中学生の部活動もありますので、もう少し広いところをと思いますし、やはり鴨川は結構遠いということを見ると、もう少し平均的に集まれるところを探したほうが良いのではないかなと思います。鴨川地区からこちらに小学生が出てきて、小学校がなくなってしまうと何か寂しくなってしまうような気がします。それならば、もう少し鴨川寄りでも良いのではないかなとも思います。開校ですが、最初に開校したところと後にしたところの7年間の差がどう出るのかというところが少しわからないのですが、親としては良いのであれば早くしてほしいし、でも早くしたから良いというものでもないと思うので、もう少し考えたほうが良いかなとも思います。

(委員)

視察に行って、校舎は、やはり併設型よりも一体型のほうが良いと個人的に思います。私が小学校1年生のときにちょうど社小学校が新しい校舎になって、わくわくした思いが今でもありますので、個人的な意見ですが、子どもたちには新しいところで、良い環境で育って学んでほしいです。どこに建てるかということですが、小学校まで大体4キロをずっと歩いていましたので、個人的には近くにしてもらえれば助かるというところはあると思います。ただ、社地域全体のエリアを見ますと、やはりこの中学校のあたりになるのかなというふうな感じです。あとは、京都はグラウンドが狭かったので、広いスペースを確保できるようなところでしていただければ

ありがたいと思います。開校時期ですが、どこがやっても最初からうまくいかないと思いますので、良いことであればやはり早くしてもらほうが良いと思います。スタートできるのであれば、早くしてもらったら良いかと思います。逆にここから徐々に広げていくということもあるかなと個人的には思います。

(委員)

併設型か一体型かに関しては、小中一貫教育をしていく上で一体型でないという意味がないという意見もあり、併設だったら意味がないのかなと思うので、やはり一体型のほうが良いのかなと思います。場所に関しては、先ほどから出ているように、広い面積で運動がしっかりできるという要件のもとで、小学校と中学校の児童、生徒がどのエリアに多いのかということをもとに把握した上で建てないと、すごく遠いところに子どもがたくさんいても意味がないのかなと思うので、そこをまずしっかりと見た上で場所は決めていったほうが良いと思います。

(委員長)

場所の具体的な希望等はございませんか。

(委員)

希望を言ってしまうとやはり私欲に走ってしまうので何とも言えませんが、もし、私の住んでいる地域の子どもの数が少ないのであれば、私の住んでいる地域の近くよりも、子どもの多い場所を近くにしてあげたほうが全体的に良いのではないのかなと思います。ただ、私の知り合いに聞いたのですが、どうせこの辺になるのでしょうが、そうなったら嫌ということと言われていたので、そのような方の意見もしっかり踏まえた上で、その人たちが納得いくような方法を考えていただいたらというふうに思います。時期に関しては、見学に行っていないのでわからないのですが、先進校がうまくいっているというのも多分その前段階に、かなり準備等をしっかりした上で開始されたからこそ、見学に行かれたところというのはすばらしかったと思うので、その準備ができてない上で早くしたほうが良いというのはどうなのかなという意見はあります。滝野と東条と社の中で、その準備であったり、地域の協力ができたところから始めていくという形が一番良いのではないのかと、私としては思います。予算を組む上でそういう形ができるかどうかはわかりませんが。

(委員)

まず、施設ですが、やはり一体型のほうが良いと思います。家を建てるのも同じですが、既存のものを色々修正していくとどうやっても妥協する部分が出てきますし、新しいことを末永くやっていくというのであれば、最初にできるだけ使い勝手を考えて良いものをつくって長く使うというような形にしたほうが良いと思います。場所につきましては、グラウンドもですが、体育館、プール、野球をするのでしたら野球場等、様々な必要なものがありますので、それらのスペースが確保できる場所が必要だと思います。例えば、この中学校の場所でしたら一通りそろっているので、できるならばそのような必要な施設が確保できる場所に建てるべきだと思います。それと、都市計画というのがあると思います。例えば、福田でしたら社町時代から起勢の里の計画があって、ずっと手つかずであったりします。やしろこどものいえから福田小学校までを一体して施設整備をするという企画が、未だに多分残っていると思いますが、そういったものと照らし合わせて、できるか、できないかはわかりませんが、そういったものも考えていったほうが良いと思います。時期につきましては、私はこの社中学校が統合してできたときに1年生で入りましたが、当初体育館がなかったのと、プールがなかったということをよく覚えています。凌風学園も当初、設備がないというふうなことがあったので、やはりせっかく始めるのでしたら、全て使える状態で始めたいと思います。もし最初にやっても体育館やプール等が後回しということになるのであれば、きちんとできる体制になってから

やったほうが良いと思うのと、ずるい考えかも知わかりませんが、ノウハウ的にはやはり後のほうが、良いところ取りができるというのもありますので、そういったことが十分できるようになってからやったほうが良いと思います。

(委員)

併設型を見ていなくて、京都の視察だけしか知らないのですが、その中で判断して施設一体型が良いと考えています。候補地に関しては、この社中学校付近であれば、もう既にある程度の土地等が確保できているので、後はどのようにして、うまく施設一体型に持っていくかということを考えれば良いのかなと思っています。遠方になるとバス通学等になってきますが、その辺がしっかりできれば、この場所で良いのではないかと考えています。時期ですけれども、施設一体型ができるのであればいつでも良いと思っています、何か問題があって小中一貫の開校の時期が滝野、社、東条地域で差が出て、加東3校が同じ施設一体型ができるのであればそのできるときにすればよいと思っています。例えばどこか一つが併設型になってしまうのはよくないのではないかと考えております。その差が出ることによって何か問題がありそうなときは、学校、市等でカバーするといった対応をとればよいというふうに考えています。

(委員)

私も先進校の見学をさせていただきまして、施設に関しては併設型の選択肢はないと思っておりました。併設型とする理由としては、おそらく予算ぐらいしか、多分ないと思いますので、施設につきましては一体型でお願いしたいと思っています。候補地につきましては、十分に施設の予算がとれれば、第一候補はここであろうと思いますし、それから各小学校からの通学の便も十分考慮して決めていただきたいと思います。意外に災害が発生しそうなところに建っている小学校、中学校もあつたりしますので、浸水区域であったり、土砂災害区域であるというようなところは絶対に選択しないようお願いしたいところです。それと、先ほど農地の話をされていましたが、農地はたくさんありますから、思い切って農地区域から外したり、農地転用等をすれば良いと思います。それから、時期につきましては、同時にするのは、現実的に多分、市の手に負えないだろうと思いますので、もうそこはやむを得ないとしまして、どこからやるのかというところが議論になるというふうに思います。

(委員)

まず、一体型か分類型かということですが、私は小中一貫教育のメリットを生かそうと思ったら一体型のほうがいろんな意味で、一体型のほうが良いと思います。分離型になると、たとえ隣でも一緒にないことで距離感が生まれてしまうのではないかという不安があるので、一体型を希望します。場所については、鴨川地区の子どもたちの負担が少なくなるように、距離的に大体同じになるようにしていただけたらと思います。バス通学なので、多分鴨川からバスであれば30分ではきつと思います。三草も回って、片道40分とかになると少ししんどいのではないかと思います。実際に、どのようなルートでスクールバスが走るかは決まってないのでわからないのですが、やはり負担は大きいと思うので、もう少し東寄り、三草寄りを私としては希望したいと思っています。時期は、いきなり5校を1つにすると、人数的にも規模的にも大きいので、うまくいけばその後もやりやすいと思いますが、うまくいかなかったときに收拾するノウハウがなければ少し大変ではないかというがあるので、平成33年より36年以降で、2番目くらいが良いと思っています。場所ですが、この社中学校周辺になると、どうしてもグラウンド、校舎がありますし、例えばそのグラウンド、体育館、プールまで安全な距離でおけるかどうかの不安があることも、ここでないほうがよいというもうひとつの理由です。施設が整っ

た状態で子どもたちに教育できるほうが安心して預けることができるし、教育も伸び伸びとできるのではないかと考えています。

(委員)

目的から考えたらやはり一体型が望ましいと思います。せつかくする以上は皆が「これがいいよね」、「こうしたいよね」と思うものを集めていって、より早く、より良い学校をつくっていったらというようなことを思います。より良いものをより早くというのは、私はそれを理想にしながら進めていけたらと考えています。ただ、場所ですが、たくさん子どもたちが学校にやってきます。自転車で来る子、徒歩で来る子、バスで来る子、いろいろな子どもがやってくるので、まずは通学、登下校の途中の交通事故の心配もあるので、周辺整備も含めてできるような場所がよいと考えています。それから、保護者の数も格段に増えますので、何か行事をしようとしたときにたくさん車の数が一度に集まってくるので、確保できる場所というやはりこの社中学校の周辺であれば市の駐車場等が使えるし、それから図書館等も近くて利用できます。なかなか他で駐車場も含めて、普段は使わない土地をたくさん確保するのは難しい問題で、必要なときに貸していただける駐車場が近くにあるというようなことも含め、行事等をスムーズにこなしていくということになると、この周辺が良いのかなというようなことも思ったりもします。

(委員)

姫路の白鷺小・中学校という併設型のところへ行きましたが、やはり職員室が小学校用職員室、中学校用職員室の2つがありまして、話合っているとは言われていましたが、あまり一体感はなく、この間見ました一体型の学校は1つの学校に勤務しているという意識も出ている感じがありましたので、校舎の形態としては一体型が良いと考えております。それから、場所については、この社中学校は広く、まだもう少し横に伸ばすことができるのかどうかはわかりませんが、やはり今あるこれだけの敷地を確保するということになると他ではなかなか難しいと思います。校舎の位置等、細かな配慮をすれば十分この社中学校の中で建てられるのではないかと考えています。それから、この後いろいろな準備があるということですが、やるという方向を向ければ、準備はできると思いますので、社地域はできるだけ早い、平成33年から開校というのを目指したらというふうに思っております。

(委員)

目先のことでだけでなく、長い目で見た面と、それから教育効果を考えると是非一体型でしていただけたらと思います。良いものを早くつくって、長く使って、子どもたちにプラスになればという意見です。2つ目の場所については、結論からいいますとこの社中学校周辺が良いと思います。なぜかと言いますと、周辺には高校もあり、小中一貫校があり、近くに幼稚園があり、そういう文教区というのが固まったほうが教育的には非常に良いからです。先ほど少し出ていましたが、行事をするにしても駐車場が必要であったり、それからイベントをするにしても固まっていたほうがその効果は非常に高いと思いますので、それを考えるとこのあたりが一番良いと思います。それから、時期的な面は、これは市の資金計画にもよりますが、それを加味した上でできるだけ早くしていただいたほうが良いのではないかと。なぜかと言いますと、文科省も動きかけているという情報が入っています。そうすると、早くしたほうがアドバンテージ、有利性があります。他のところも小中一貫校を開設する準備に取りかかるころがどんどん出てきますので、そういう面から考えると、できるだけアドバンテージをいただくのであれば早いほうがよいと感じています。

(委員)

新しい学校をつくるのですから、やはり子どもたちにとって使い勝手がよくて、わ

くわくするような校舎、建物ということで一体型が良いと思います。ここにも書いてありますが、一回建ててしまったら変えられませんので、最初にお金を注ぎ込むということは大事ではないかと思っています。それから、候補地ですが、今いろいろな意見が出ていますが、やはりこの社中学校の敷地を有効に利用するということが一番現実的というような思いがあります。これだけの広い敷地のところを他でということは、なかなか難しいというような思いがあります。それから、開校の時期ですが、これはやはり慎重にしたほうがよいと思います。5校が一緒になって、子どもの数が小学生、中学生合わせて1,000人を超える学校になりますので、そのあたりをどうすり合わせて5校と中学校をまとめてやっていくのかということについては、時間をかけて検討する必要があるのではないかと思っています。

(委員)

まず、形態ですが、凌風学園のような一体型を見に行ったら、あのような施設、無理のないような形で子どもたちの教育環境を整えてやっていただきたいので、やはり一体型が良いと思っています。候補地については、今、鴨川地区の保護者の方もいろいろと不安を言っておられました。スクールバスは避けられないことで、複数、少なくとも3台くらいはないと社地域は回らないのかなと思います。それで、子どもが集合場所までは歩いてきますので、家からそこまでの時間と、スクールバスに乗っている時間で、家を出てから1時間以内というのがどこの地域からも、同等の条件になるような形でスクールバスの運行を考えていただければと思っています。それと、時期については早いほうが良いですが、ただ東条、滝野は2つの小学校と中学校が1つになり、社は5つの小学校と中学校が1つになりますと、やはり教員の人数が一番気になります。義務教育学校と小中一貫型の学校で、これから教員定数がどうなるかということも含めて、うまく今の人数が確保できればよいのですが、教員を減らすようないろいろな動きもあるので、その辺、手厚い配置で加配、基礎定数も含めて確保できるような形で文科省が動いていただければ、人数が増えても先生方を配置して厚い指導ができると思いますし、先生方の負担も軽減されると思いますので、そういうことも考えていくひとつの要素かと思っています。そういうことも含めて早く出ればよいと思いますが、それが気になるところです。

(委員)

私は一体型が良いと思います。それと、時期的なものは、遅いよりは早いほうがよいとは思いますが、今もあったように5校が1つになるわけですから、いわゆる小中連携、あるいは小小連携というところも積極的にする中で子どもたちの交流をすることによって子どもたちの不安が解消していこうし、保護者の方も必然的にそうになっていこうと思っています。そこでようやく1つという思いをしています。したがって、積極的に小小連携、小中連携をしていく中で滝野、東条は2校での連携で5年後もあります。そのあたりを考えると当初の平成36年という計画もよいかと思っています。場所についてですが、ここが一番望ましいと思ったりもします。ただ、工事が始まると車両云々という問題が出てきます。自動車の量が増えると必然的に事故等というのもすごく心配しますし、工事が始まると騒音が気になります。当然、授業の方が進んでいく中でも建設することになるのしょうから、できることならば静かな状態で勉強ができるほうがありがたいです。それは、予算の都合もあって駄目なこともあったりしますが、そういう心配もする中で進めていただければと思います。

(委員)

今の実情を考えて意見を述べたいと思いますが、一長一短になりますので、これがよいというのはなかなか言いにくいところではあります。形式にしましても9年間のメリットを考えると、そこを目指してやっていくわけですからやはり一体型が

良いとは思いますが、実情を考えると教職員の定数がどれぐらいの配置になるかわからないという中で、例えば国が決めた制度で人数が少なかった場合、1,000人規模になることでいろいろな問題が出てきたときに一体型がよかったのかという問題も出てくるかもしれないので、そこは慎重にしたほうがよいのかなとも思います。ただ、先ほど言いましたように9年間のメリットを考えるとやはり一体型なるのかなと思います。それから、候補地についても今まで社中の生徒の数が2倍、3倍になるわけですが、敷地は3倍にできないと思います。駐車場の問題等、もっと考えていかないといけないと思いますが、やはり一番大事なことは子どもの安全面、それから通学の距離等も考えて総括的に、一番無駄のないところということになろうかと思います。実施時期ですが、1,000人を超えるわけですから準備期間というのが絶対に必要だと思います。良い面で言うと、良い教育をするわけですから早いほうがよいのに決まっていますが、問題点という一つの仕事にしても今までしていた仕事の負担が大きくなり、教職員が増えるといっても一からやるわけですから、そういうのも踏まえて考えないといけない。それから、できるだけ地域の差がないようにしたほうが望ましいでしょうが、やはり工事の問題とか財政の問題とか、そういうのも踏まえて考えていかないといけないのかなと思います。

(委員長)

今、皆さん方の御意見を伺いますと、施設についてはほぼ100%、一体型がよいということでした。私自身も視察等に行きますと、良すぎたのかどうかわかりませんが、本当に凌風学園はよかったですよね。私も一体型がよいと思います。当初、市の計画では併設型という感じでしたが、経費的なものは多少かかるかもしれませんが、やはり皆さん、視察に行きまして一体型の良さが十分わかっていただいたら、もう一体型のほうが良いのではないかという気がします。それと、委員がおっしゃられましたが、中学校は40年近く使っているということになりますので、耐震性等の問題がなかったら多少は使えると思いますが、維持管理費等も出てきますし、それと先生方の一体感、あるいは子どもたちの成長という部分を考えてやはり一体型のほうが良いという気が私もしております。

ただ、候補地は、皆さんの御意見の中ではやはり社中学校周辺の御意見が多いわけですが、鴨川は遠くなりますよね。時間的、距離的な差がどれくらいあるのか、具体的にはわかりませんが、駐車場等の部分を考えると、やはり市の施設が使える。ですから体育祭等があった場合にそれだけの大人数の駐車場を確保するような用地をとろうと思ったら、プラスアルファの用地買収になってくると思いますので、市役所の駐車場が使えるという有利さにおいては、この社中学校近辺がよいのかなと思います。経費的にも用地買収が少なくて済みますからよいような気がします。それで、社中学校の場合、横に池がありますよね。あの池を埋め立てるとか、そういうようなことも可能になります。ただ、それは水の利用、農家の方とも話をいろいろとしないといけないと思いますが、そういうことも可能であるというようなことも伺っております。多少、その周辺の農地の買収も必要かと思いますが、新たなところにこれだけの大きなものをつくらなかったら少し大変ではないかという気がしますので、そういう意味合いではこの社中学校がよいのではないか。横には社高校があり、少し走ると兵教大があるということで、文教地区というような加東市の教育の拠点みたいな感じになるので非常によいのではないかという気がしております。

時期はやはりできるだけ早くという御意見が非常に多いですが、もう一つ慎重にやってほしいという御意見もあります。やはり我々自身が視察に行ったにしても、いろいろな経験がないわけですから、できるだけ慎重にというのはやむを得ないと思います。ただ、別にこれですぐ建てるわけじゃないですから、時間が5年とかあ

りますので、できる限り連携をして失敗のないようにしていく必要があるかと思
います。ですから、私は、そういった上で、できるだけ早くやっていただいたほう
が、せっかく一体型の良い学校をつくるのであったら、子どもたちに短期間の間に
そういう学校の施設をつくってやっていくのが教育環境としては非常に良いとい
う気がします。

皆さんからの御意見を伺って、私の意見を言わせていただきましたが、言い忘れ
ていたとか、皆さんの意見を聞いてこのように思うようになりましたという御意見
は何かございませんか。

意見のまとめとしては、施設一体型ということと、候補地は社中周辺がよいので
はないか。それと時期についてはなるべく早く、ただし慎重にやってほしいとい
うような御意見が多いような感じがするのですが、よろしいですか。

(委員)

社中学校周辺で建てることになったときに、そのときに社中学校にいる子たちは
どのように勉強するのですか。

(事務局)

学校の改修や建てかえというのは、他市でもあります。グラウンドを挟んで北側
の旧の校舎で勉強しながら、南側に新たな校舎を建て、ただし、大きな騒音が出る
ような工事は夏休みを中心にやっていくなどという教育上の配慮はして、なるべく
遠いところに建てるというような場合があります。また、市街地では、横の隣接地
に建てるということではできないので、グラウンドは共用ということで、教育上は当
然そのときの子どもたちにはある程度の負担はかかると思います。例えばグラウン
ドが狭くなったり、工事の車両が入るので登下校の場所が少しずれたりという負担
はかかりますが、その負担をなくすために長期休業中に集中工事をするという配慮
はしています。結論的に言いましたら、全く違うところに建てるのであれば別です
が、建てるには負担はかかるだろうということです。

(委員)

建てるのに何年くらいかかるのですか。

(事務局)

工事に関しましては、建物の工事と、当然、周辺整備、外構工事が必要になって
まいります。道路の拡幅部分が生じるということもありますので、学校だけの建設
工事を見るならば1年半で十分大丈夫であるというふうには思っております。それ
はあくまで工期というふうになりますので、実際に現場で工事をやるというのは、
それ以内というふうになってまいります。また、外構工事は別に発注せざるを得な
いなどということが考えられますので、その分はあと何か月か加味してくるとい
うようになります。

(委員)

1年半の間はグラウンドが使えないことも多々あるということですか。

(事務局)

グラウンドの工事に入ったときには使えない時期はあります。ただ、そうなった
ときに体育の授業ができませんというわけにはいきませんので、当然、その手だては
打ちます。

(委員)

大胆な意見になると思いますが、社高校のグラウンド、野球場等、体育施設を教
育研修センターのあるところへ全部持っていくという方向はどうですか。

(委員長)

その場所は、こども園になる予定ではなかったですか。

(事務局)

はい。今、検討しております。

(委員長)

状ヶ池も多少潰して駐車場にするとか、あるいは上の池はもう潰してしまうとかすれば、中学校のグラウンドはそのままの状況で小学校用のグラウンドが多少とれるというイメージでよろしいのですか。

(事務局)

土地のことが絡んできますが、ある程度、そういったところを含めて拡張していかなければいけないとは思いますが。そういうところを拡張すれば十分用地の確保はできるというふうには考えてございます。

(委員)

小学校だけでも今ある建物で一回合併してしまって、できるときに小中するのはどうなのかなと思いました。建物は、全員が無理であれば前段階として5校あるうちの3校だけを今の社小学校にすれば、不安なことも少し軽減されるのかなと思ったりもしました。

(委員)

社小学校は今でも教室が足りないので、1校か2校なら可能ですが、3校になると・・・。

(委員)

一度に1,000人になるので、まず、前段階として小学校だけでも合わせると、次に合わせやすいのかなと思っただけで、校舎のこととかまでは思っていませんでした。

(事務局)

今のお話ですが、小規模の学校の関係者からそのような御意見もいただきました。段階的に統合をかけて、最後に小中一貫にすればよいのではないかということですが、教育委員会の考え方としましては、それはよくある統廃合の学校と同じ考え方になってしまいます。どこどこをなくして、子どもをここへ集めてということではなくて、子どもは小学生と中学生が同時に一緒に皆で新たな学校をつくろうと思っています。事実上の統合にはなりますが、社小学校に行くのではなく、人数差がありますが社小学校の子たちも皆で新たなところへ来て、新たな学校をつくり、それを地域の皆で頑張って支えていこうということを目指しています。一緒の時期に同じように来ることで、皆が「はじめまして。良い学校をつくりましょう。」となるだろうと思います。統廃合は「お邪魔します。」「いらっしやい」になってしまうので、それは、子どもたちにとってはどうかというようなことを思っております。そのような説明を小中一貫教育研究会等でさしあげております。

(委員長)

小小の連携は、移行する過程で多少はやって行かれるわけですね。

(事務局)

それは当然です。

今、鴨川、米田、三草は定期的にやっていますし、それ以外は少しずつやっていますが、5年後にいきなり一緒にできないので、小中一貫教育研究会でも言われております。交流活動を計画的に、意図的に増やしていかなければ子どもたちがいきなり来て、「はじめまして」も言えない状況になったらいけませんので、教育委員会が学校と連携をして、交流は増やしていくということで、計画的にやっています。

(委員長)

ただ、地域コミュニティーを衰退させないといいますが、いかにうまくやっていくかということが研究会でもいろいろと議論されていますが、地域と学校が分離し

てしまったらまずいですからね。また、子どもたちがスクールバスで、すごく時間をかけて通学をしないといけないという部分も、どうすれば短い時間で済むかということや、先生方の負荷をいかに軽減していくかというようなことを考えていかないと、先ほどからの御意見の中で慎重論があるというのは、そういうふうな形が見えていませんので、どうしても慎重にならざるを得ないということがあります。研究会のほうでそういう細かい点の課題といたしますか、これはたくさんありますので、そういうものをピックアップしてテーブルの上に乗せて、それについて議論をし、始めたらうまくいくようにどうやっていくかということを考えている段階です。

それでは、まとめに入らせていただきますが、先ほどからの御意見の中で施設の形態については一体型が望ましいというようなことですね。それから、候補地としては駐車場等という問題を含めれば、ほかの施設も利用できるということで社中学校の周辺が良いのではないかと。それから、時期については失敗しないようにということで慎重論があるわけですが、できるのであれば極力早くやってほしいというようなことを皆さんの総意として今日の会議はまとめるということによろしいですか。賛同にされる方は、挙手をお願いしたいのですが。

〔賛同者挙手〕

(委員長)

ありがとうございます。

それでは、今後の予定について、説明をお願いします。

(2) 今後の予定について

〔事務局説明〕

(委員長)

報告書をつくるわけですが、各地域の推進協議会の委員長、副委員長が集まって教育委員会から御報告をいただき、それで皆様方には文書で御連絡、報告をさせていただくという案と、皆様はこのように集まっていたら教育委員会から説明していただく案のどちらの案が良いかなということですが。後者につきましては、また皆様方にお集まりいただかないといけないのですが、挙手で採決をとってみたいと思っています。前者の委員長、副委員長だけが教育委員会から報告を受けて、皆様方には文書で御報告をさせていただくという案がいい方は挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

(委員長)

では、前者のほうの3地域の委員長、副委員長が集まって教育委員から報告を受けて、それで皆様方には文書で報告をさせていただくという案によろしいですね。

〔異議なし〕

3 教育長挨拶

4 閉会

【資料名】

資料① 小中一貫教育推進協議会での主な意見（社地域）

平成28年3月7日